

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

教育指導課地域教育推進室長 竹下 勝

電話番号

0852-22-5738

事務事業の名称	キャリア教育推進事業	
目的	(1) 対象	県内高校の生徒及び特別支援学校高等部の生徒
	(2) 意図	これからの社会を生きていく生徒一人ひとりの個性や創造力を伸ばし、夢に向かって挑戦していこうとする意欲や自立心を育む教育活動を推進する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の高校生の個性・創造力を伸ばし、夢に向かって挑戦しようとする意欲を育むため、学力向上などにつながる取組を推進する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>□生徒の夢を実現する普通科高校教育力アップ事業</li> <li>□夢実現進学チャレンジセミナー</li> <li>□創造性・個性を育む専門高校魅力アップ事業</li> <li>□学びの力向上チャレンジセミナー</li> </ul> </li> <li>高校生の創造力・コミュニケーション力を育むため、県内の高校生に対し、島根の食材と他地域の食材を組み合わせた料理コンテストを実施する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>□食の縁結び甲子園</li> </ul> </li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	甲子園大会の全国応募チーム総数	目標値		100.0	130.0	170.0	校
	式・定義	書類審査に応募したチーム数	実績値	87.0				
			達成率	-	-	-	-	
2	指標名	学びの力向上チャレンジセミナー参加率	目標値		100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	参加人数/募集定員×100	実績値	66.7				
			達成率	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	29,575	39,398
うち一般財源 (千円)	29,575	39,398

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> <li>食の縁結び甲子園           <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の中国四国大会では、県外チーム数33、県内チーム数54の計87チームの応募があり、参加者募集はおおむね達成できた。また、参加生徒等からは好評であった。しかし、開催周知が不十分で、観客はのべ299人と少なく、課題が残った。(成果指標において全国からの応募チーム数を取り上げる理由：来県高校生が増えることにより、県内高校生がより多くの刺激を受け、学ぶ機会の拡充につながるため)</li> </ul> </li> <li>夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー：昨年度のセミナー参加人数 (55/60人、33/50人) 参加率 (91.7%、66.7%)</li> <li>生徒の夢を実現する普通科高校教育力アップ事業、創造性・個性を育む専門高校魅力アップ事業</li> <li>各学校の特色を生かした教育活動の展開のため、実態に合わせた取組となった。</li> </ul>
---

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>食の縁結び甲子園事業により、食を通じて地域を知り、地域の課題を解決しようとする地域理解と貢献意欲の高まりが見られた。また、県外から参加した高校生には、島根の魅力をj知る機会となり、島根ファンの獲得の一助となった。</li> <li>夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナーを通して、志を高く持ちチャレンジしようとする意欲や学びの楽しさが喚起された。</li> <li>普通科高校教育力アップ事業や専門高校魅力アップ事業を通して、各学校の学力向上につながる教育活動やキャリア教育に基づく魅力ある教育活動が行われ、自校の魅力発信や地域連携などにつながった。</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食の縁結び甲子園全国大会           <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度は開催周知が不十分であり、高校生の応援を含めた観客が少なかった。</li> </ul> </li> <li>夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー           <ul style="list-style-type: none"> <li>定員まで達していない状況であり、やや低調である。</li> </ul> </li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食の縁結び甲子園全国大会           <ul style="list-style-type: none"> <li>本大会の時期が、他の部活動の大会や資格試験の時期と重なり、今後も多くの高校生の応援が期待できない。</li> </ul> </li> <li>夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー           <ul style="list-style-type: none"> <li>自尊感情が低かったり、自己のコミュニケーション力に不安を覚え、一人で参加することに消極的なため。</li> </ul> </li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食の縁結び甲子園全国大会           <ul style="list-style-type: none"> <li>東部を中心とした一般県民を観客として呼び込むための有効な手立てについて検討する必要がある。</li> </ul> </li> <li>夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー           <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの進路について、将来像を早めに見つけさせる必要がある。</li> </ul> </li> </ul>

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> <li>食の縁結び甲子園全国大会           <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の全国大会においては、参加者募集は全国の有名有力校への募集を中心に実施する。また、開催周知については、新聞等の報道機関の協力を得るとともに、県内東部を中心にPR活動を展開していく。</li> </ul> </li> <li>夢実現進学チャレンジセミナー、学びの力向上チャレンジセミナー           <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム内容の質の充実を図るとともに、募集チラシにおいてセミナー内容の明確化を図り、生徒の参加意欲を高める。</li> </ul> </li> </ul>
--

## 9. 追加評価 (任意記載)

<p>・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。</p> <p>・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
---